

69期進路通信7

一日一日を大切に！ 会えなくても応援しているよ！

今のこの時期、本来ならクラスにもようやく慣れて、担任の先生との面談や友達との会話を通して、自分の進路実現への思いを固めているころだと思います。「受験は団体戦」だとよく言いますが、これは、周りの人たちとの交流・支えあいを通じて、自分自身の目標を設定し、モチベーションを維持することができるという側面を表しています。今は直接顔を見て励ますことはできないけれど、私たち教員も離れた応援席から皆さんを支えていきたいと思っています。だから、みなさんも一日一日を大切に、自分の進路実現のための努力を重ねてください。

計画的に勉強するとは、どうすることか？

受験勉強にあたって、とても大事なことは、計画的に勉強することです。計画的に勉強するとは、一言でいえば、自分で何をいつまでにやるかを決めて、実行するということです。もちろん、勉強時間も大切です。いくら「量より質」といっても、一日1時間や2時間の勉強時間で結果が出せるはずはありません。ある程度の「量」があって初めて「質」のいい勉強ができます。そのうえで、何が自分に必要かということを見極めて計画を立てることが大切です。ただ、実はこれが難しいのです。「何をしたらいいかわからない」「いろいろ手をつけるけれど、中途半端」という人もいるかもしれません。頼みの綱の塾も閉鎖状態です。課題が送られてきたり、動画の配信があったりするという話も聞いていますが、勉強の仕方がわからず、困っている人も多いかもしれません。

計画の立て方の例

- ① 必要な科目・項目をリストアップする。例えば、英語であれば、単語・文法・長文読解・リスニング・ライティング。リスニングやライティングは人によって必要度が違いますね。国語なら、漢字・熟語・慣用句など、現代文読解・古文単語・古文文法・古文読解、漢文句法などなど。
- ② 必要な科目・項目のリストアップの際に気をつけてほしいのは、学校推薦型選抜(公募制推薦)に必要な科目しかやらないというのは、絶対やめてほしいということ。一般選抜まで受験するつもりで計画を立ててください。毎年、「英語しか(あるいは国語しか)やっていない」生徒が公募制入試で合格できず、「どうしたらいいか」と相談に来ます。時間が限られているからこそ、先を見通して準備することが大切です。
- ③ リストアップができたなら、「何をいつまでにやるか」を決める。例えば、英単語。仮に3000語の単語を覚える場合。一通り覚えるまでの期間を2か月、60日と考えたとしましょう。一日50語ですね。とにかく、一日50語はかならず覚える。もちろん忘れてもかまいません。今から始めれば、

6月下旬には一周目が終わっているはずですが、次は2周目。1か月30日で覚えましょう。一日100語です。もちろん忘れていた単語もありますが、全部忘れていたわけではないので、大丈夫。7月下旬には2周目終了。次は一日200語。15日間で3周目。8月半ばには3周目が終わっているはずですが、こんな感じでやっていけば、入試が始まる11月には、よほど覚えられない単語以外は、結構頭に入っていると思います。ただ、覚えたと思って、覚えなおしをやめてしまうとすぐ忘れてしまうので、繰り返し確認するのが大事です。

- ④ ③のような感じで、各教科・各項目の参考書・問題集などをいつまでにやるのかをきめましょう。その結果、一日何ページやるのか、何項目やるのかが決まってくる。もちろん、学校の授業がある日とない日では、できる分量が変わるので、そのあたりの調整はしてください。ここで大事なのはあまり難しい問題集には取り組まないこと。まずは、基礎固めなので、学校で使っている問題集レベルの問題、つまり教科書レベルの問題が完璧に解けるようになることが重要です。夏休みまでに基礎が固まれば、その後は過去問などの個別試験対策にも取り組んでください。
- ⑤ こうやって毎日、各教科・項目の自分で決めたことをこなしていくだけで、一日1時間や2時間の勉強時間では到底足りないことがわかると思います。ただ、気をつけてほしいのは、無理な計画は立てないこと。必ず、余裕をもった計画にすること。1週間単位で、できずに残ってしまった所をやるための日を設定するといいたいと思います。もう一つは、自分なりの勉強のペースをつかむことや、自分にあった勉強の仕方がわかるまでには、時間がかかるということです。それでも、これだけは必ずやると決めてやっていけば、必ず成果は出ます。しかし成績はすぐには上がりません。実感できるまでに3か月から半年はかかります。今から取り組んで、秋ごろにやっと力がついてきたと実感するのが一般的です。でも、心配しなくても大丈夫。現役生の力が一番伸びるのは、12月から1月。2月3月まで伸び続けます。そのつもりで頑張ってください。

日本学生支援機構の奨学金の申し込みについて

★よくいただく質問が、「スカラネットに入るためのID・パスワードがわからない」ということですが、このID・パスワードは学校に記入済みの「申し込みのてびき」（赤の冊子）や必要書類を提出して点検を受けた後に、個別にお渡しするものです。

申し込みの流れを簡単に確認します。

- ① 「申し込みのてびき」に入力内容を記入。
 - ② 「様式集」の「提出書類一覧表」と「給付奨学金確認書」「貸与奨学金確認書」（両方または片方）に必要な事項を記入。他に必要な書類があれば準備する。
 - ③ 5月7日～14日に①②を学校に提出し、確認を受ける。
 - ④ ID・パスワードを受け取り、「申し込みのてびき」に従ってスカラネットに入力する。
- *5月7日に学校再開できなかった場合は、改めて日程・提出方法を連絡します。